



KAWASAKI CITY

土砂災害

Sediment Disasters

災害

ハザードマップ

土砂災害ハザードマップには、大雨や地震により土砂災害のおそれのある区域を示しています。また、避難場所をはじめ避難に役立つ情報を示していますのでご確認ください。

令和3年10月発行



高津区

区域の最新情報は神奈川県土砂災害情報ポータルを参照してください。

川崎市 まちづくり局指導部地産企画課 | 川崎高津区本町1番地 TEL.044-200-3035

がけ崩れから身を守る

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

土砂災害の種類には、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりの3つの現象があります。ほとんどの土砂災害は、長雨や大雨、地震によって発生します。長雨や大雨の場合、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土の抵抗力が弱くなり、災害発生のおそれが多くなります。

なお、川崎市で発生のおそれのある土砂災害は急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）です。がけ崩れは、大雨や台風等により、がけに水が浸透することでがけの強度が低下することによって、がけが突然崩れ落ちる現象です。崩れた土砂は、がけの高さ以上に離れた場所まで到達することがあります。前兆現象を確認するなど、危険を感じたら、速やかに避難することが大切です。

前兆現象

- 小石がバラバラ落ちてくる
 - 斜面に割れ目ができる
 - 斜面から水が湧き出す
- ※これらの現象が継続することで、がけの安定性が低下し、がけ崩れの発生危険性は高まっています。



気象情報や避難に関する情報の流れを確認しよう！

災害の危険性が高まると、「土砂災害警戒区域」に「避難情報」を発令します！

＜避難情報等＞		＜防災気象情報＞
警戒レベル	避難行動等	警戒レベル相当情報
警戒レベル5	既に災害が発生又は切迫している状況で、命を守るための最善の行動をとります。	大雨特別警戒（土砂災害）
警戒レベル4	危険な場所から全員避難しましょう。	警戒レベル4相当情報
警戒レベル3	避難に時間を要する人（高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその変更者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警戒（土砂災害）等
警戒レベル2	避難に備え、土砂災害ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	警戒レベル3相当情報
警戒レベル1	災害への心構えを高めます。	大雨注意等（気象庁が発令）

避難情報等が配信されるメールニュースがわかりやすく登録しましょう。メールニュースがわかりやすく検索

避難時の注意事項

災害時に避難するときは、普段通っている道でも足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざというときに慌てないためにも、どこへ、どの道を通って避難するのかを日頃から家族やご近所の方と話し合っておきましょう。

火の始末、戸締り

台所や暖房器具の火を消しましょう。避難するときは、家族に連絡がとれるように、家族にメモを残す。家引き返さない。土砂に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取り、家に戻らないようにしましょう。

避難時は助け合おう

自力で避難することが困難な方は、早めの避難が必要です。お年寄りや子供が安全に避難できるように協力しましょう。

慌てずに行動

避難路の安全を確かめながら、落ち着いて行動しましょう。また、市が指定する避難場所へは、避難情報が出るまでは、開設されていないことがありません。避難場所へ自主避難を行う場合には、事前に区役所へ連絡し、確認するか、急を要する場合には、区外の親戚や知人への一時的避難も有効な避難方法です。いざというときは、慌てずに行動し、身の安全を確保してください。

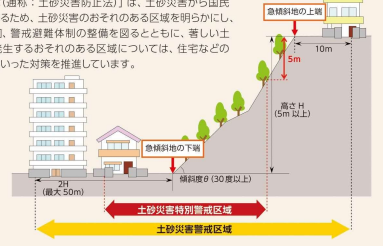
雨の降り方と災害発生との関係

1時間雨量	降り方のイメージ	災害発生時の状況
10～20ミリ	●ザーザーと降る	●この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20～30ミリ	●どしゃ降り ●車のワイパーを動かしても前方が見づらく	●側溝や下水、小せなけがあられ、小規模のがけ崩れが始まる
30～50ミリ	●バタンとむくり戻したように降る ●車での高速走行にブレーキが効きにくくなる	●がけ崩れが起きやすくなり、危険地域での避難の準備が必要
50～80ミリ	●雫のよどみ ●これ以上、車の運転は危険	●マンホールから水が湧き出す ●土砂災害が起こりやすい
80ミリ以上	●音質になるような圧迫感がある	●雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、最悪な警戒が必要

※雨の降り方が強い場合でも、長時間、雨が降る場合はがけ崩れの危険が増します。

土砂災害防止法とは

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（通称：土砂災害防止法）」は、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、危険の周知、警戒避難体制の整備を図るとともに、著しい土砂災害が発生するおそれのある区域については、住宅などの建築制限といった対策を講じています。



土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

- ### 土砂災害警戒区域の指定基準
- 傾斜度が30度以上で高さ5メートル以上の区域
 - 急傾斜地の土壌から水平距離10メートル以内の区域
 - 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50メートルを超える場合は50メートル）以内の区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



- 特定の開発行為に対する許可制（神奈川県）
 - 留意を有する建築物の構造規制
 - 建築物の移動等の動向（神奈川県）
- ### 土砂災害特別警戒区域の指定基準
- 急傾斜地の崩壊等に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動等に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生じおそれのある損壊を生じることなく耐えることのできる力を上回る区域。

我が家の防災メモ

自宅を見つけましょう

裏面の地図で自宅が土砂災害警戒区域等に入っているか確認しましょう。区域に入っていない 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域

避難場所や避難経路を確認しましょう

状況に応じた避難行動

安全な場所への避難

近隣の高い建物等への避難

屋内の安全な場所への避難

非常持出品を確認しましょう

非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう。保管場所

家族やご近所で災害時の対応を考えましょう

家族の約束事

ご近所での約束事

ハザードマップの使い方

- 自宅を見つけましょう**
自宅が土砂災害警戒区域等に入っていないか確認しましょう。
- 避難する場所を確認しましょう**
土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合を想定して、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどで災害時に備えましょう。
- 安全な避難経路を決めましょう**
災害時には通れなくなってしまう道もあるので避難経路を複数決めましょう。
- 実際に避難経路を歩いてみましょう**
家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。
- 家族で災害時の対応を話し合いましょ**
大雨やがけ崩れの際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。
- 学校やご近所で考えましょ**
学校やご近所へ、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に推進が必要と思われる方についても、おんなどでできることを考え、避難の間に協力しましょう。
- 我が家の防災メモを完成させましょ**

日頃の備え

家庭備蓄の充実

- 災害時には、ライフライン機能の低下など日常生活の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、できれば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。
- 飲料水**
- 飲料水は1人1日3リットル必要です。
 - ペットボトルなどでも、家族全員分の、用意しておきましょう。
- 食料**
- 缶詰や乾菜、缶詰など、日持ちのするものなるべく多く用意しておきましょう。
 - 普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期間が来る前に消費しなが定期的に買い置きすることで、無理なく備蓄ができます。（＝ローリングストック）
 - カセットコンロ（ガスも使わず）、簡易トイレ（汚物処理剤）などを用意しておきましょう。

非常持出品チェックリスト

水・食料	飲料水	携行食・非常食	ビスケット・缶詰等
医薬品	処方している薬	救急箱	救急セット
貴重品	現金	印鑑	健康保険証・預金通帳
安全対策	ヘルメット	防災ずきん	厚底の靴
点検	携帯電話	充電器	携帯ラジオ
衣類	雨合羽	タオル	手拭きタオル
生活用品	ウェットティッシュ	ティッシュ	タオル
掃除機	掃除機	アルコール消毒液	マスク

がけの防災対策

自身の所有する宅地で災害が生じないように維持保全することは所有者等の義務になります。そのためには各段からがけの状態をチェックし、適切な対策を実施することが大切です。

早期に対策を講じることで災害を事前に抑制することができます。自身の所有する宅地についてチェックしてください。

災害時に役立つ情報

川崎市防災ポータルサイト（川崎市ホームページから）

市内の災害に関する緊急情報、避難情報などを掲載するほか、日頃からの備えに役立つ情報を紹介しています。

かわさき防災アプリ

川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることが出来ます。

メールニュースがわかりやすい「防災気象情報」

川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでt-kawasaki@sg-p.jp

防災行政無線・防災テレホンサービス

防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆様に避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。防災行政無線の放送内容は、電話でも聞かれます。通常時は放送が流れず、0120-910-174（通話料なし）県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話から044-245-8870（通話料あり）携帯電話、PHS、県外の一般加入電話・公衆電話から

神奈川県土砂災害情報ポータル

県内の土砂災害の危険度や雨量の状況などを知ることができます。パソコンから https://dosyasaigaai.pref.kanagawa.jp/webste/kanagawa/gis/index.html 携帯電話・スマートフォン URL https://dosyasaigaai.pref.kanagawa.jp/webste/kanagawa/mobile/

その他

気象庁ホームページで警報・注意発表の予測を見ることができます。ツイッター（アカウント @kawasaki_bousai）、緊急連絡メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。

お問い合わせ先

避難に関すること	総務部企画危機管理室	044-200-3662	警報
避難に関すること	高津区役所危機管理担当	044-861-3147	110
がけの保全に関すること	特別計画課土木課	044-932-7111	119
防災情報に関すること	まちづくり局指導部地産企画課	044-200-3035	
	総務部企画危機管理室	044-200-2857	

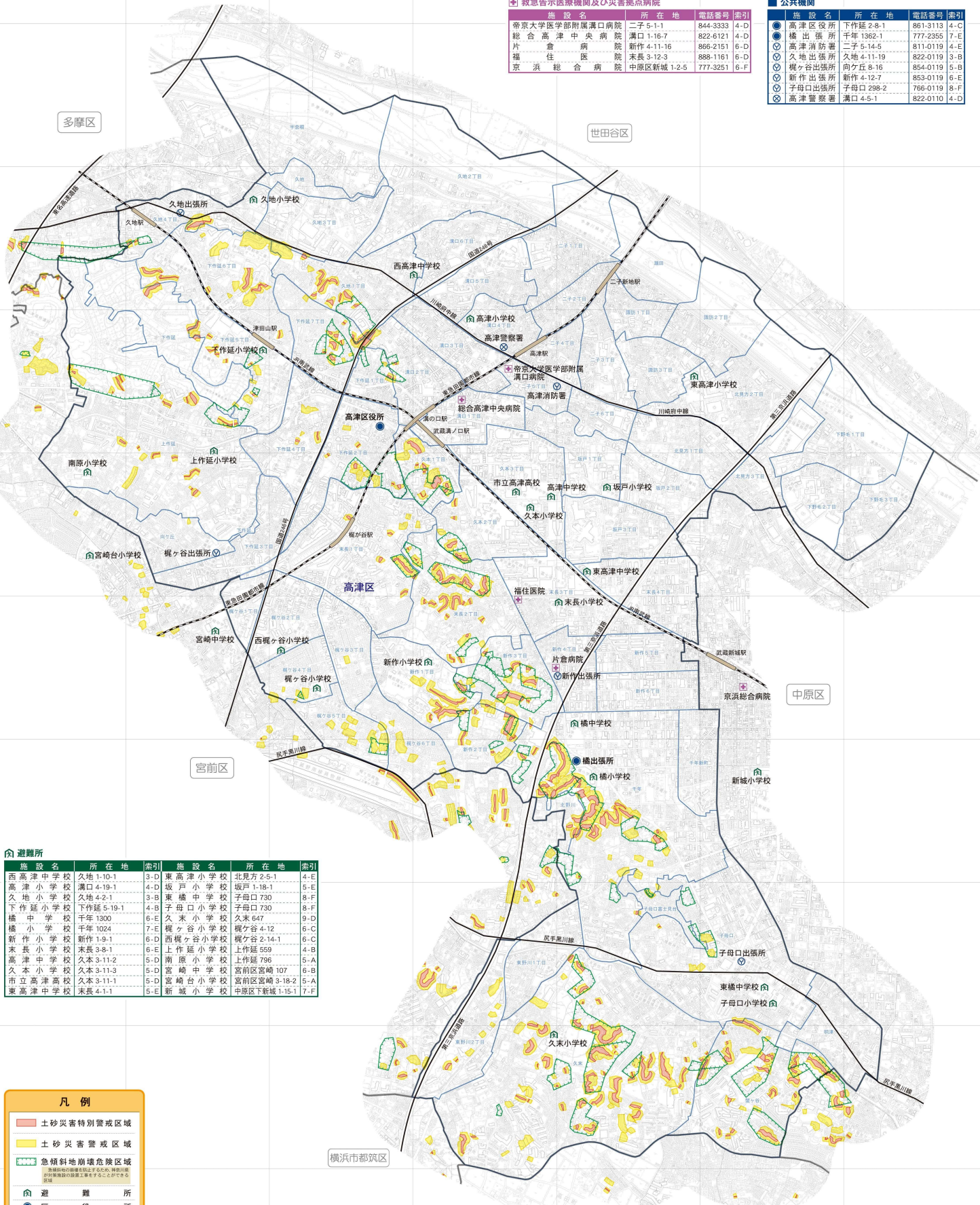
高津区土砂災害ハザードマップ

救急告示医療機関及び災害拠点病院

施設名	所在地	電話番号	索引
帝京大学医学部附属溝口病院	二子 5-1-1	844-3333	4-D
総合高津中央病院	溝口 1-16-7	822-6121	4-D
片倉病院	新作 4-11-16	866-2151	6-D
福住医院	末長 3-12-3	888-1161	6-D
京浜総合病院	中原区新城 1-2-5	777-3251	6-F

公共機関

施設名	所在地	電話番号	索引
高津区役所	下作延 2-8-1	861-3113	4-C
橋出張所	千年 1362-1	777-2355	7-E
高津消防署	二子 5-14-5	811-0119	4-E
久地出張所	久地 4-11-19	822-0119	3-B
梶ヶ谷出張所	向ヶ丘 8-16	854-0119	5-B
新作出張所	新作 4-12-7	853-0119	6-E
子母口出張所	子母口 298-2	766-0119	8-F
高津警察署	溝口 4-5-1	822-0110	4-D

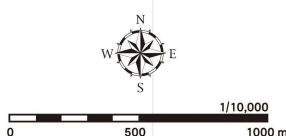


避難所

施設名	所在地	索引	施設名	所在地	索引
西高津中学校	久地 1-10-1	3-D	東高津小学校	北見方 2-5-1	4-E
高津小学校	溝口 4-19-1	4-D	坂戸小学校	坂戸 1-18-1	5-E
久地小学校	久地 4-2-1	3-B	東橋中学校	子母口 730	8-F
下作延小学校	下作延 5-19-1	4-B	子母口小学校	子母口 730	8-F
橋中学校	千年 1300	6-E	久末小学校	久末 647	9-D
橋小学校	千年 1024	7-E	梶ヶ谷小学校	梶ヶ谷 4-12	6-C
新作小学校	新作 1-9-1	6-D	西梶ヶ谷小学校	梶ヶ谷 2-14-1	6-C
末長小学校	末長 3-8-1	6-E	上作延小学校	上作延 559	4-B
高津中学校	久本 3-11-2	5-D	南原小学校	上作延 796	5-A
久本小学校	久本 3-11-3	5-D	宮崎中学校	高前区宮崎 107	6-B
市立高津高校	久本 3-11-1	5-D	宮崎小学校	高前区宮崎 3-18-2	5-A
東高津中学校	末長 4-1-1	5-E	新城小学校	中原区新城 1-15-1	7-F

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 急傾斜地崩壊危険区域
 - 避難所
 - 区役所
 - 消防署・出張所
 - 警察署
 - 救急告示医療機関及び災害拠点病院
- 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、令和3年7月現在のもの（最新情報に準じて川崎市防災情報サービス「タマ」で確認してください）



川崎市の地図を基に株式会社国土院の地図データを利用しています。地図データ © 国土院株式会社 2021 年